

2023年8月2日

凸版印刷株式会社

三井化学東セロ株式会社

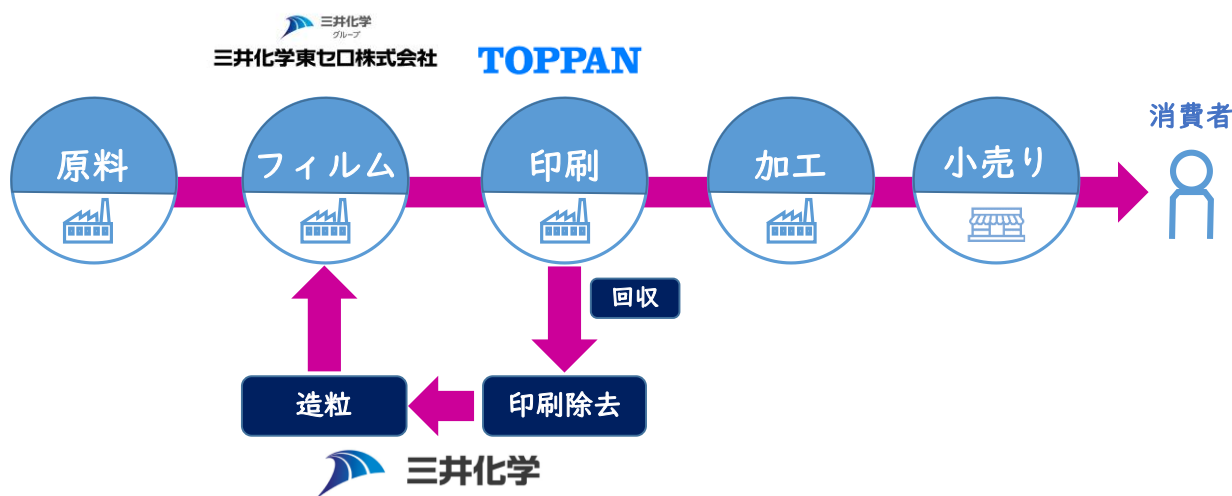
三井化学株式会社

## 軟包材フィルム 水平リサイクルの共同実証試験開始

印刷済の軟包材 OPP フィルムの印刷を除去し、  
再び軟包材 OPP フィルムに水平リサイクルする実証実験開始

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨秀晴、以下凸版印刷)、三井化学東セロ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:松坂繁治、以下三井化学東セロ)、及び三井化学株式会社(本社:東京都中央区、社長:橋本修、以下三井化学)の三社は、印刷済 OPP フィルムを元の軟包材フィルムに水平リサイクルする共同実証試験を 2023 年8月より開始致しました。

三社は、本共同実証試験によって軟包材フィルムの水平リサイクルの技術及びオペレーション基盤を確立し、さらに軟包材業界におけるネットワーク拡大を通じ、軟包材フィルムの水平リサイクルの普及・発展を目指します。



### ■ 本実証実験を行う背景

日本政府が提唱するプラスチック資源循環戦略では、プラスチック資源について、2025 年までにリユース・リサイクルが可能な材質構成に置き換えること、また 2030 年までに容器包装の 6 割をリユース・リサイクルすること、プラスチック資源の再生利用を倍増することなどのマイルストーンが策定されています。そこで、2025 年を重要な起点として、2030 年に向けて、リユース・リサイクルを拡げて行く必要があります。

三井化学は 2022 年 5 月に、軟包材コンバーターで発生する廃棄フィルムを回収し、インキを除去してペレット化し、軟包材フィルムに再生する取組みである「RePLAYER®-Renewable Plastics Layer System-」の取組みを開始しました。同年 12 月からは、凸版印刷、三井化学東セロ、三井化学の三社が、共同で本実証実験の基礎検討を開始。2023 年度は、本格的な共同実証試験として、凸版印刷において印

刷調整時等に発生する OPP フィルムの廃材を三井化学が回収・印刷除去・造粒を行い、三井化学東セロが再生 OPP フィルム化を実施します。そして、凸版印刷にて印刷適性やラミネート適性、製袋・充填適性など、再生 OPP フィルム品質の評価を進めます。その際、ラミネートには三井化学が保有する環境対応接着剤も使用します。三社はこの取り組みを通じて、日本政府のプラスチック資源循環戦略のマイルストーンに沿って、2025 年度の社会実装を目指します。

### ■ 3 社の役割

	三井化学	三井化学東セロ	凸版印刷
強み	ポリプロピレン樹脂の知見 (樹脂組成、改質、測定分析 技術)	OPP フィルムの製膜技術	コンバーティング技術 (再生フィルムの知見含む) 川下への展開力
役割	使用済みフィルムの回収、印 刷除去、再生造粒・品質管 理	再生フィルムの製膜・品質管 理	使用済み OPP フィルムの提 供、再生フィルムのコンバー ティング、販売・マーケティング

ご参考) RePLAYER<sup>®</sup>特設サイト

<https://jp.mitsuichemicals.com/jp/sustainability/beplayer-replayer/replayer/>

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のもです。その後予告なしに変更されることがあります。

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL:03-6880-7500

お問合せフォーム:[https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc\\_pr\\_csr\\_ja](https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja)